

こだわりの詰まった「まだ見ぬ宇宙へ」



上坂浩光監督

2月5日(日)に、当館で放映中のプラネタリウム番組「まだ見ぬ宇宙へ」を制作された上坂浩光監督のトークショーを開催しました。この作品について監督がお話されるのは当館が初めてとのことで、細部へのこだわりや制作秘話などをお話いただきました。また参加されたお客様には、監督が描いた貴重な絵コンテもプレゼントされ、映像化された番組と比較する楽しみも感じていただけたようでした。監督の宇宙への情熱や愛情が伝わるトークショーとなりました。

当日は、監督が過去に制作された「HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-」「HAYABUSA2~REBORN」も特別に上映。終演後、目を輝かせながら監督に感想を伝えるお子さんやファンの方々の姿がとても印象的でした。監督の作品は、時間が経っても色あせない魅力があると改めて感じました。



番組「まだ見ぬ宇宙へ」

コアンダ効果!? マグナス効果!?

2月4日(土)に SKIPPA ワークショップ「ゴムが浮き上がるゴム銃を作ろう!」が行われました。講師は教育センター所長の緒方秀充氏です。

空気の特徴について科学おもちゃを作りながら学習し、コアンダ効果・マグナス効果についても学びました。最後には最強ゴム銃も作成し、みんな的に向かって発射しました。参加者からは「色々なおもちゃが作れて楽しかった」など嬉しい感想が寄せられました。科学おもちゃを通して帰宅してからも探求できる楽しいワークショップとなりました。



☆天文トピックス☆ 金星を見つけよう

日の入り後の西の空、ひときわ明るく目立つ星があります。太陽系の惑星の一つ「金星」です。夕方見られる金星は「宵の明星」と言われ、今年7月ごろまで宵の明星として見られます。

現在、金星は日に日に空で見つけやすい高さになってきています。太陽のしずむ時刻は日々遅くなっていきますが、6月ごろにはすっかり暗くてもしばらくの間見ることができそうです。

3/24、4/23、5/23には、金星の近くに細い月も見られ、6/22にはさらに火星も加わります。西の空で目を引く金星の姿に注目してみてください。

金星は
1等星の100倍もの
明るさがあるのよ



きんせいちゃん

令和5年は「うさぎ年」 ~干支にちなんだ「うさぎのおもちゃ」を作りました~

令和5年の干支「うさぎ」にちなんで、ミニワークショップ「Go!Go!ラビット」を開催しました。期日は昨年末の12月27日(火)、年が明けて1月5日(木)、6日(金)の3日間。のべ167人の参加がありました。色は、白うさぎと茶うさぎの2種類。特に、白うさぎのほうに人気だったようです。

この「Go!Go!ラビット」は、坂道をぴよんぴよん跳ねるようにして走ります。何度も試作を重ね、最初は後輪だけでしたが前輪を付け加えてスムーズに動くように工夫しました。みなさんに楽しく遊んでもらえるよう特設コースを会場近くに設けました。

かわいいうさぎができあがると、さっそく走らせて遊んでいる姿が見られました。

